

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年10月30日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490200577		
法人名	有限会社 メディカルサービス廿日市		
事業所名	グループホーム千同ひまわり		
所在地	広島市佐伯区千同2丁目6-29 電話 082-924-2567		
自己評価作成日	平成27年10月10日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigyosyoCd=3490200577-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成27年10月19日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

地域住民の一員として、様々な行事を地域の方と一緒にやっている。お花見、畑での玉ねぎほり、お芋ほり、餅つき等は町内の方の全面的なご協力をいただいている。職員・入居者様も町内のお祭りの司会を引き受けたり、スポーツ大会に参加したりと、積極的に交流を図っている。また様々なボランティアさんに来て頂き、囲碁教室、フルーツ演奏、フラワーアレンジメントなど、入居者様が少しだけ非日常感を味わえるように工夫している。ボランティアさんたちも圧倒的に地域の方が多し。日々の活動としては外出・外食に力を入れている。春の花・夏の海・秋の紅葉など、季節が感じられる場所への外出や、新しく出来たショッピングセンターでの外食など、入居者様がほどよい刺激を受けられる場所へとお誘いしている。職員の独断でなく、入居者様の好みをリサーチした上でやっているの、皆様お喜びになっている。美術館・ホテルのバイキングなどもご家族にも好評である。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は平成24年4月開設のグループホームである。地域からの要請により、現在地に開設した経緯があり、地域との結びつきが強く、町内の公園を使用した夏祭りでの司会や、新年会への参加など、様々な地域活動に協力しているほか、地域からのボランティアの受け入れ、近隣住民の避難訓練の協力など、地域の一員として溶け込んでいる。
事業所の周囲は、民家や田園風景が広がる落ち着いた環境であるにもかかわらず、国道から一歩入った立地で交通至便であり、生活の場として最適な場所にある。
また、外出活動にも非常に力を入れており、公民館での体操教室、美術館、温泉、ショッピングセンターなど、利用者の思いを反映させた外出がなされるなど、利用者本位の運営がなされている事業所である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「地域との交流を大切にします」という活動目標を、毎日朝礼にて唱和している。町内清掃への参加、資源ゴミ回収をはじめ、夏祭り、秋祭り、グラウンドゴルフ大会、地域の畑への玉ねぎ収穫等、積極的に関わりを持つよう、職員一同意識して実践に繋げている。	事業所の活動目標をもとに、地域に溶け込んだ運営がなされており、職員が積極的に地域との交流が行えるようになっている。また、職員がユニットごとにペアとなり、易しく実践しやすい目標と、難易度の高いチャレンジ目標を併用して立てており、理念の共有と実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に加入しており、今年の夏祭りでは職員、入居者が司会を務めた。近隣の保育園の園児がホームに来て交流を持ったり、子ども神輿が来て下さったりした。又、フラダンス、笑いヨガ、習字、囲碁などの地域ボランティアが訪れ、日常的に交流している。	事業所として町内会に加入しており、入所者と一緒に夏祭りでの司会、近所の保育園との交流、子ども神輿などをはじめ、地域ボランティアの受け入れや廃品回収など、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	管理者が認知症コーディネーターとして、地域の方へ啓蒙活動を行う努力をしている。アルツハイマー講演会への協力も行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議では、ご家族はもとより、地域の方にも毎回ご参加頂き、日々の活動や行事への参加等を写真を交えてご報告している。又、そこで頂いた意見を職員間で話し合い、サービス向上に活かすよう取り組んでいる。	運営推進会議は、町内会の希望を聞いて日程調整を行っており、参加者からの活発な意見が毎回挙がり、事業所も積極的に取り入れている。一例として、介護予防体操、植物園や温泉などの外出行事、家族同伴での外出、回想療法の導入など、事業所のサービス向上に活かしている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議に地域包括支援センターの方に毎回ご参加頂き、信頼関係を築いている。議事録は区役所へ持参、報告し、次回の会議への参加の声掛けを行っている。また、区の主催の勉強会に参加するよう心掛け、協力関係を築くよう取り組んでいる。	地域包括支援センターとの意見交換や、地元の区主催の行事、地域ケア会議、各種打ち合わせなど、日頃から市との連携を保ち、協力関係を築くように取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>日中は玄関を開錠しており、自由に出入りできる環境である。契約時の約款にも明記されており、職員全員が共通の認識の基に、身体拘束をしないケアを実践できるよう、研修や勉強会への参加を進めている。</p>	<p>法人において身体拘束防止委員会、各種マニュアルなどが整備されているほか、事業所においては職員が月1回持ち回りで研修を主催する際に、身体拘束予防を含めたロールプレイング研修を行っており、ケアの向上に努めている。徘徊などの利用者に対しても、見守りや付き添いで対応している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>外部への研修の受講や、ホーム内での勉強会を行い、虐待についての知識を深める様進めている。また、職員同士が日々のケアの中で確認、話し合いながら注意を払い、虐待防止に努めている。契約時の約款にも明記されている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>外部への研修や、勉強会を開催し、権利擁護について学び、活用できるように進めている。個々の入居者様に必要な制度の紹介や、話し合いの機会を持てるように支援を行っている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時、不安や疑問点に納得ゆくまでお答えし、十分にご理解を頂けたうえで契約の締結となるように努めている。入居後も随時質問にお答えし、変更等ある場合は、必要に応じて書類等を配布し、説明を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議にてご意見、ご要望をお聞きしている。家族会にて懇談の場を設けたり、玄関に意見箱を設置するなどし、細かな要望にも対応するよう努めている。職員からも、入居者様やご家族にご意見等お聞きするなどし、運営へ反映させるよう随時努めている。</p>	<p>本人の生活習慣や行動から思いをくみ取るようにし、食事メニューへの反映を行っているほか、家族と本人との接し方に関する意見交換を行い、輪投げなどのアクティビティの導入や、室温の温度調節など、家族意見の反映にも努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>スタッフ会議を月に一回行っており、各係や担当からの意見を聞く機会を設けている。その他、提案等あれば管理者が随時受け付け、運営に反映させている。職員アンケートの公表も行っている。</p>	<p>スタッフ会議や職員アンケートにより、日頃から職員意見の収集を行っており、朝の掃除を入所者と一緒に行ってもらい、取り組みや、言葉遣いの注意喚起など、職員からの運営に関する意見を随時反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>定期的に人事考課にて面談を行い、個人の努力や目標について詳細に聞き、把握している。勤務表作成時は、職員の体調や個人の事情などにも配慮して作成している。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>研修の機会があれば回覧で知らせ、少しでも多くの研修を受けるように促している。ホーム内でも月に1回勉強会を行っている。職員一人一人に合った目標設定をし、達成できたか振り返りを行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>グループホーム同士の交流会への参加や、地域包括支援センター主催の近隣のグループホーム、民生委員の集う会に参加し、意見交換をし、サービスの質の向上に努めている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居される前に面談を行い、ご本人やご家族から情報収集を行っている。今まで関わってこられたケアマネからも情報を頂いたり、関連法人の相談員とも協働したりと、信頼関係が築けるよう心がけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居前に本人様と見学に来て頂き、事前 に不安や要望を聞き、関連法人の相談員 と協力し、より良いサービスが出来る様 取り組んでいる。ご家族様ともコミュニ ケーションを大切にし、話しやすい関係 作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本 人と家族等が「その時」まず必要とし ている支援を見極め、他のサービス利 用も含めた対応に努めている。	入居前や入居後においても、随時話し合 いを行い、ご本人やご家族を支援してい く上で必要と感じた際には、訪問マッ サージや訪問歯科等、他のサービスも提 供出来るよう事前に調査し、体制を整え るようになっている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場 に置かず、暮らしを共にする者同士の 関係を築いている。	共に暮らしていくという意識を持ち、認 知症状態である方の生活を営む姿を支 え、教え合ったり励まし合ったりしなが ら、信頼関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場 に置かず、本人と家族の絆を大切にし ながら、共に本人を支えていく関係を 築いている。	入居された時点から、共に考えていける ようご家族の気持ちに寄り添い、ご家族 の状況をわかった上で、可能な限りの協 力をさせていただいている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染み の人や場所との関係が途切れないよ う、支援に努めている。	入居者様が、お好きで通っておられたパ ン屋に、職員と他の入居者様と一緒にパ ンを買に行き、昔を思い出し懐かしん でいただく事を大切に支援している。	利用者が以前利用していた床屋、本屋、 よく外出していた場所に出向くなど、馴 染みの場所との関係継続や、知人に便り を書いてポストに入れる支援を行うな ど、本人がこれまで大切にしてきた関係 を継続できるような支援がなされてい る。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	皆で過ごす時間などは、入居者様同士が良い関係でいられるように、職員が仲介役になり良い関わりを支援している。散歩や外出時に車椅子を押して頂くなど、助け合う瞬間を、大切にした支援を意識している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	長期入院のため退居された方についても、時々職員が面会に行き、病状や家族の心配や不安な事などを傾聴している。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの思いを、日々の会話などから把握するよう努めている。意思表示困難な方に対しては、その方のご家族からの情報や、その方の性格や生活の日々の様子などから本人主体となれるよう努めている。	利用者一人ひとりの思いを反映するために、3か月おきに作成するケアプランにおいて検討し、その方の日頃の会話や行動などから思いや意向を把握するよう努めている。手を使った動作が好きな方には編み物、毛糸の提供、計算が好きな方には計算など、本人本位の検討がなされている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	初期の頃だけではなく、継続的にご本人やご家族、周囲の方から性格や生活歴等の情報収集をこまめに行う様努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	入居者様の生活の様子などから、日々支援方法などを考える為、必要ときには職員間で話し合いをし、情報交換をして対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>日頃の申し送りやカンファレンスの中で、職員間の意見交換やケアの統一をはかり、担当者を中心に、今ご本人に必要なニーズの把握に努めている。</p>	<p>職員会議やミーティングノートを活用し、ケア担当者が作成した原案を、計画作成担当者が介護計画に仕上げている。事業所独自の課題整理統括表を毎月更新、見直しを行い、現状に即した介護計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>入居者の体調やご機嫌を察しながら、ケアプランに沿った支援をし、記録を残すようにしている。特記事項については、くわしく記載し連絡ノートを使い、職員全体で把握出来るようにしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご本人のニーズに対応出来るよう行事計画を立てたり、ボランティアの方々に来所して頂き支援している。ご本人やご家族の状況に応じて、通院や送迎等柔軟に対応している。ご家族が泊まる際、ご家族の要望等にも柔軟に対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>近くの保育園の運動会ごっこや町内会の夏祭り、町内掃除、町内会主催のグランドゴルフ等に参加し、ホームでの家族会に地域の方にも参加していただくなどで、地域との交流を大切にしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>ご本人や家族の希望があれば、かかりつけ医への受診を、継続していただいている。</p>	<p>入居前のかかりつけ医を選ぶことができ、特に希望がない場合は協力医への受診を支援している。また、眼科や歯科など専門的な医療については往診も対応しているなど、利用者が適切な医療を受けられるよう支援がなされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	個別ノートにて情報や気付きは職員間で共有し、訪問看護師や職員の看護師などに相談や指示を仰ぎ適切な受診が受けられる様支援している。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	看護部長、相談員、その他の病院関係者との相談や情報交換を行っている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	御本人と御家族様の希望に答えながら、主治医と相談し対応している。	入居契約時、約款にて事業所の方針を説明している。実際に重度化した場合は医師と職員から家族へ説明し、文書で同意を得ている。また、病状の進行に応じて再度説明している。実際に看取り事例も3例あり、医療との連携のもと、チームで支援を行っている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	緊急連絡網を作成し、職員全員に配布し緊急対応出来るようにしている。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	消防職員の方にも随時来て頂き、毎月避難訓練を行い、屋外にも音が聞こえるよう、火災報知ベルスイッチも設置した。	消防や地域住民からの支援のもと、毎月避難訓練を行っており、地域からの要望で屋外に火災ベルを設置しているほか、緊急時は地域の協力者への防災無線があるなど、地域との協力体制が築かれている。防災マニュアルも整備され、消防への報告もなされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者様の個人の人格や、プライバシーを尊重し尊厳を損なわない様な声掛けを行っている。	日頃から利用者の人格の尊重やプライバシーの確保について話し合いの機会を設けているほか、事業所内の研修においても意識づけを行っている。その結果、「ちょっと待って」など言葉での抑制防止や、排泄介助時のプライバシーの配慮など、一人ひとりの尊厳を損なわない対応がなされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	御本人が自己決定出来る様に声掛けをし、御本人の希望を優先させている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	御本人、御家族の希望を取り入れ、それに沿ったケアをしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	カット店はカット中に、アロマやお花等を飾って、利用者に着いてカット出来る様な店にお願いし、朝着替えるなどは服の色やコーディネートを考えている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	畑で出来た野菜を、一緒に収穫したり、利用者の方の嗜好を把握し食事に取り入れている。外食なども楽しんで行かれています。	食事は事業所内で調理しており、利用者の嗜好を聞き、日頃のメニューに反映させているほか、家族と一緒に料理するなどの取り組みもなされている。その結果、カレーやパン、コーヒーやお好み焼き、ギョウザなど、バリエーションに富んだ食事の提供がなされ、楽しみながら食事ができる工夫がされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。	塩分にも気を配り、お味噌汁などは一日に二回にしている。水分にも気を配り、おやつ時や入浴後の水分補給にも気を配っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、御自分で出来る方は口腔ケアをして頂き、難しい方はお手伝いをして義歯洗浄などをさせて頂いています。必要な方は、訪問歯科もお願いしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	尿意の無い利用者の方に声掛けなどをしながら、トイレ誘導を行い、トイレにて排尿をして頂けるようにしている。	排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行ったり、重度化した方でも必ずトイレに座ってもらうなど、排泄の自立に向けた取り組みを工夫して実行している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。	主治医と相談し、排便表を参考にしながら、下痢、整腸剤などを調整し、牛乳やジュースなど、その方が飲みたい物で水分補給して頂いている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。	毎日入浴したい方など、利用者の方の御希望に沿う様にしている。外出される事などもあるので、曜日などは決めていない。	希望すれば毎日でも入浴できるなど、入浴日を決めてしまわずに、本人の希望に対応しているほか、基本的に午前に入浴しているが、午後にも入浴できるようにしたり、入浴時間についても長く入ることもできる。ハーブなどを入れて楽しんでもらったり、温泉に行く取り組みも行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	暑がり寒がりの人に合わせて、エアコンや布団で温度を調節し、一年中を通し快適な室温を保っている。シーツ・パジャマの洗濯表を作り、抜けおちの無いよう順番に洗濯しており、常に気持ち良い寝具を提供し安眠を支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	一人ひとりの病名、内服薬、用法、用量を記載した一覧表を、日々使用している行動記録表の一番オモテにはせて常に見られるようにしており、スタッフ全員が即答できる。副作用等記載のしおり・処方箋は個別にファイルし、直ぐに閲覧できる場所に保管してある。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	一人ひとりが出来る事、得意とする事（編み物、ゴミ箱用新聞折り、写経、計算・漢字プリント、ぬり絵、家事活動等）がほぼ毎日できるように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	地域の公民館で行われる体操教室・リース作り等への参加、家族同伴の日帰り温泉旅行、ホテルでのランチ・美術館・植物園・パークゴルフ・バラ公園等、普段は行けないような場所への外出を支援している。	地域の公民館で行われる教室や、ショッピングセンター、美術館、植物園、日帰り温泉旅行など、積極的に外出がなされているほか、日頃から近所への散歩も行われている。家族同伴で行う外出などの取り組みがなされている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご家族の了解を得て、ご自分で管理できる方には所持して頂き、買い物等を使って頂いている。所持が難しい方へは立替であとでご家族に請求している。外出困難な方は移動パン屋さんで選んで頂き買い物の気分を味わって頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	お葉書が届いていたら返信をお勧めし、返事を書かれていたら一緒に近くのポストへ出しに行ったり、代わりに投函したりしている。携帯電話を持っておられる方へは、操作で困っておられたれお手伝いしている。電話の希望があればお取次ぎしている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	リビングではゆったりと過ごせるようソファやマッサージチェアが置かれており、壁には季節を感じる手作りカレンダーや作品が展示され、くつろげる空間となっている。	共有空間であるリビングは、日当たりも良く風通しも良い。ゆったり座れるマッサージチェアや畳スペース、座りやすさを追求した椅子を設置しているほか、家具の色遣いを落ち着いた基調に工夫するなどの配慮がなされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビング、廊下にソファや椅子が点在し、独りで過ごせる場所や馴染みの方同士が並んで座るソファ等置かれている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	馴染みの家具や小物を持ち込まれていたり、家族の写真や、若い頃のアルバムを置かれ、心地よく過ごせる工夫がされている。	書道作品や生け花、仏壇、思い出の写真など、本人の思い思いの品を持ち込むことができるほか、各部屋に洗面台を設置するなど、利用者が清潔に気持ちよく過ごせるような居室の配慮がなされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	安全に移動出来るよう、要所に手すりを設置している。自走用車椅子で移動しやすいように、ゆったりとスペースを設けている。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム千同ひまわり

作成日 平成28年1月14日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	日常の外出支援が、足元の悪い方が増えて来て、以前より回数が減ってきた。	足元の悪い入居者様でも外出を楽しめる様援助する。近場で楽しめる場所を普段から探しておく。	出掛ける場所を選定する際、安全に移動できるかどうかをしっかりと確認する。またご家族にも細かく報告し安心していただく。	1 2 か月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。